

令和 8 年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

教育目標

武蔵村山市立第九小学校長 加藤 寛之

- ◎学び合う子…自ら考え、主体的に判断し、他者と協働しながらよりよく問題解決できる子
(確かな学力)
- ◎つながり、支え合う子…豊かな感性と規範意識をもち、自他のよさや多様性を認めて、仲間や社会のために力を発揮する子
(豊かな人間性)
- ◎たくましい子…心身ともに健康で、夢や目標に向かって粘り強く取り組む子
(健やかな心と体)



目指す特色ある学校像と経営の具体策

子供同士で育ち合う異学年交流

年長者は役割と責任をもち、集団のために自分の力を発揮することで自信や誇りを育てる。年少者は感謝と憧れの気持ちをもち、これからの自分の未来像を描けるようにする。(コミュニケーション力の向上)

- 毎日の縦割り班清掃の実施
- 毎月の縦割り班遊びの充実
- 縦割り全校遠足の実施



「まちづくり学習」の推進

地域の魅力を子供たちが主体的に働きかける場をつくり、学校だけでは得られない知識、経験、能力を育成する。

- 総合的な学習の時間、生活科を活用し、地域の資源や人材を生かし、子供たちの「やりたい、知りたい、考えたい」を大切にしたい指導を行う。
- ゼロカーボンシティチャレンジ校としての取組

学力向上を図る充実した教育支援

全ての子供にとって分かりやすく、学びやすい環境や授業を提供することで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。

- ユニバーサルデザインの教室環境
- 読書活動を中心とした「読む」指導の充実
- 専門性を生かした学年内交換授業の推進
- タブレット PC 等の積極的な活用

地域の教育力や外部の人材の活用

コミュニティ・スクールの関係者、一中校区、地域と連携した教育活動を推進するとともに、児童の学習意欲を喚起するような体験活動を充実させる。

- 小中一貫教育の推進
- ゲストティーチャーを招聘した活動の推進
- 地域行事への積極的な参加の推奨



子供も大人も笑顔の温かい学校

～九小の子供は全教職員で指導する～

- 人権教育の推進
- 危機回避能力の育成
- 清潔感のある身だしなみ、丁寧な言葉遣いの推奨
- やり抜く力、メタ認知、リーダーシップ等非認知能力の育成
- 風通しのよい職場環境(若手教員を伴走しながら育てる風土)
- 子供たちのための時間を確保する働き方改革の推進